

【電子情報工学科】江口研究室 日本産業技術教育学会のコンテストで 2年連続「学会長賞」受賞！

日本産業技術教育学会の「第11回技術教育創造の世界（大学生版）発明・工夫作品コンテスト」において、電子情報工学科の江口研究室のチームが本コンテストの最高賞である「学会長賞」を受賞しました。

(<http://www.jste.jp/hatumeic/index.html>)

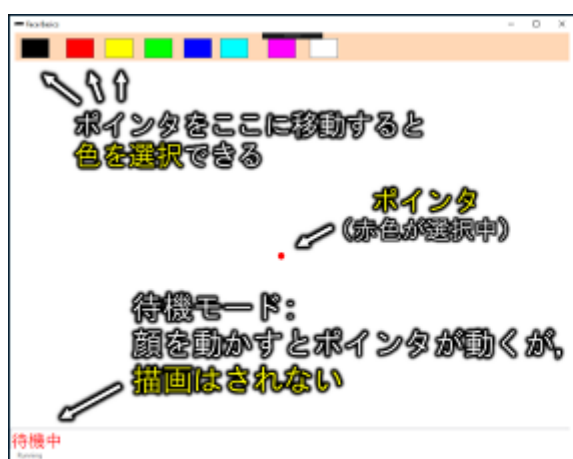
受賞学生は、電子情報工学科3年生「佐喜祐太さん（沖縄・美来工科高校出身）、電子情報工学科4年生 関 明仁さん（佐賀・龍谷高校出身）、電子情報工学科4年生「丸山秀隆さん（熊本・人吉高校出身）」の3名です。

江口研究室では、昨年「学会長賞」を受賞しており、2年連続の受賞となります。

受賞作品名：手は不要！顔の動きを使ったペイントソフト

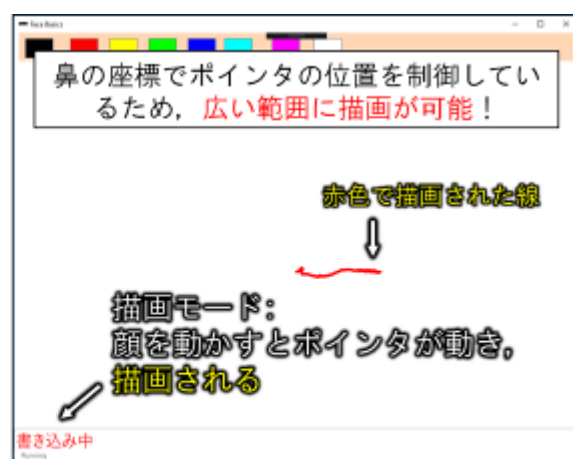
作品 詳細：<http://www.jste.jp/hatumei-c/2016/cat/2016product019.pdf>

本作品では、モーションキャプチャ技術を用いることで、顔の動きで絵を描くことができるペイントソフトを作成しました。ソフトウェアでは、鼻の位置を検出し、顔の動きによる画像の描画を可能にします。また、瞬きを検出することで、描画の開始・中止のモード切り替えを行えます。このソフトウェアによって、手を自由に扱えない肢体不自由者の方でも、コンピューター上に自由に絵や文字を描くことが可能となります。将来は、肢体不自由者のための意思伝達ツールとしての応用が期待されます。江口教授の丁寧な指導の下で、学生が大きく成長し、将来日本を支える技術者として活躍することを期待しています。



待機モード

「まばたき」でモード切り替え



描画モード

この件のお問い合わせは広報課

掲示期間 H-28-291
 2月17日~3月6日